

令和5年度スクールポリシー

～「魅力ある学校・信頼される学校」づくり～

沖縄県立宮古工業高等学校

【校訓】

- 敬 愛・・・いつでも人を敬い、人を愛し、親しみの気持ちを持って接すること。
自 主・・・自分自身の意志や力で、判断、行動し実行すること。
創 造・・・自分の力で、他にない新しいものを創り出すということ。

1. 教育目標

- (1) 『凡事徹底』教育を推進し、「文武両道」と「ものづくり教育」の実践を通して、豊かな人間性の育成や個性の伸長を図り、自己実現のできる人材を育成する。
- (2) 工業及び家庭等の専門性を向上させ、専門的な知識・技能及び技術の修得と資格取得を推進し「将来のスペシャリスト」として、社会に貢献する人材を育成する。
- (3) 部活動、ものづくり等を積極的に推進し、心身ともに健全で心豊かな人材を育成する。

2. グラデュエーション・ポリシー [育成を目指す資質・能力に関する方針]

(1) 目指す学校像

①生徒が「安心して、楽しく学べる学校」

学校の主役である生徒にとって、毎日の学校生活が楽しく、居場所のある学校生活が送れるように教育活動の質の充実に努める。

②教職員が「充実感とやりがいある学校」

すべての教職員が、自己研鑽に励み「チーム宮工」として協働体制で充実した校務を推進し、やりがいのある学校環境づくりに努める。

③保護者・地域から「信頼される学校」

保護者や関係機関と連携を強化するとともに、地域貢献活動を推進し、信頼される学校づくりに努める。

(2) 目指す生徒像

①当たり前のことが当たり前のできる生徒（凡事徹底）

②認め合い、励まし合い、お互い支え合いながら切磋琢磨できる生徒（敬愛）

③自らの考えで判断、行動し、資格取得等に積極的に取り組む生徒（自主）

④自らの可能性を信じ、創意工夫と最後までやり遂げる強い意志を持った生徒（創造）

⑤「五つの心」を持って、人と接することのできる規範意識の高い生徒

一つ、「おはようございます」という**明るい心**

二つ、「はい」という**素直な心**

三つ、「すみません」という**反省の心**

四つ、「おかげさまで」という**謙虚な心**

五つ、「ありがとうございます」という**感謝の心**

3. カリキュラム・ポリシー [教育課程の編成及び実施に関する方針]

- (1) 生きる力の基礎を養う普通教科と、社会で活躍するための専門力を養う専門教科をバランス良く編成・実施すると共に、勤労観や職業観を養うキャリア教育を系統立てて教育課程を編成することで、学んだ知識や技術で社会を支える人材としての素養を育成します。
- (2) 「少人数授業」や「朝学」など、個に寄り添った学びで「できる・わかる」を支援し、ものづくりの基礎を教科横断的視点の授業により推進します。
- (3) 課題研究や地域交流活動等での探究活動を通して、自らの課題に主体的・協働的に取り組むことで、自分で考え、計画し行動に移すことのできる能力を養います。
- (4) ホームルーム活動や学校行事、部活動等を通して、自律的な態度と、相手を思いやる心を育てます。

4. アドミッション・ポリシー [入学者の受入に関する方針]

本校は、「敬愛・自主・創造」を校訓に掲げ、ものづくり産業の担い手、地域に貢献できる人材の育成を目標に様々な教育活動を展開しています。学校生活を通して就職や進学など、自分の進路について考え、目的意識のはっきりした生徒の入学を期待しています。

- (1) 「ものづくり」に関する技術習得や工業・家庭分野に強い興味・関心があり、将来、その分野における技術者等をめざす生徒
 - ・精密工作をはじめ、金属加工や分解・整備などの機械技術やロボットなどの電子制御に関する知識と技術を習得し、将来、エンジニアになろうとする志を持つ生徒（自動車機械科）
 - ・中学校での内容をよく理解して、電気電子分野での基礎教育を受けるのに十分な能力を有し、既成概念にとらわれず、自分自身でしっかりと物事を確かめ、それを理解しようとする生徒（電気情報科）
 - ・中学校で学んだ家庭科に関する基礎知識を持ち、フードおよび服飾分野への学習意欲があり生活を豊かにし地域に貢献できる人材になることを目指す生徒（生活情報科）
- (2) 国家資格等の取得に意欲があり、取得した資格等を活かし、将来の進路希望を実現し、社会に貢献しようとする生徒
- (3) 大学進学、公務員、就職等の進路実現に向けて、高い目標を掲げ学業に真摯に取り組む生徒
- (4) 学校行事、部活動、学級活動等にも積極的に参加し、常に自分を高めようとする生徒